


ナロコとマシクフの社会 の共通点と特異点 <アンケート結果要約抜粋>

- 28件の回答(2021年2月21日-3月3日)
- 15の国籍
- 17の居住国や地域
- NGO関係者 10人
- アーティスト 4人
- 研究者 3人
- ジャーナリスト・プレス 3人
- その他市民運動活動家、学生など



コロナ禍のなかの世界各地の活動 ＜アンケート結果抜粋＞

2020年にフクシマ関連・反原発関連の活動はあったか？

No : 57%

2021年の311の10周年関連イベントを予定しているか？

Yes : 61%

今年3月に予定される3 1 1に関連した世界各地の活動 ＜アンケート結果抜粋＞

国や地域	活動
ヨルダン	この災害の記念に記事を書く。
香港	2021年3月に「福島大災害から10年」という書籍を中国語で出版する。
バングラデシュ	ダッカと所属する団体の活動地でイベントを開催予定。
トルコ	アクユ原発のあるメルスィン市の反原発プラットフォームがプレスリリースを行い、近隣の村々を訪問し集会や会議を開く。
オーストラリア、 ホーシャム	日本とオーストラリアを結ぶ市民グループ（ケアンズの移住日本人コミュニティが主体）が福島の子ども達のための保養活動を行っている。発災以降、募金のために毎年「希望の日本の日」というイベントが行われている。今年にはオンラインで開催予定。

フクシマとコロナ禍の共通点についてのコメント ＜アンケート結果抜粋＞

国や地域	コメント
インド、プネ	コロナ禍でも原子力災害でも、社会的弱者の経験を通して言えるのは無力感が大きな現象として現れること。
米国、 ニューヨーク	偏った報道、同調圧力、監視社会、全体主義。
韓国、ソウル	人間関係が破壊されること。
オーストラリア、 ホーシャム	移動のマスク着用などの日常生活の制限、人間関係における差別や分断など。

コロナ後の社会変容についてのランキング ＜アンケート結果抜粋＞

日本以外の16の国や地域で多く見られた現象

4.4	4.2	3.6	3.6
経済への 打撃	誤解を招く 情報の拡散	災害の政治利用、 「惨事便乗型 資本主義」	見えない 恐怖
香港、タイ、 英国・ウェールズ、 米国・ニューヨーク、 ポーランド・ワルシャワ、 ネパール、韓国	タイ、 英国・ウェールズ、 米国・ニューヨーク、 ポーランド・ワルシャワ、 ネパール	インド、 アフガニスタン、 米国・ニューヨーク、 ポーランド・ワルシャワ、 ネパール	ネパール、 韓国、 英国・ウェールズ、 マレーシア

あなたの国や地域の「隠された原子力推政策」 ＜アンケート結果抜粋＞

国や地域	コメント
ヨルダン	ヨルダン原子力評議会の議長が原子力の利点について再び語り始めた。
英国、 ウェールズ・ アングルシー	低炭素（または炭素排出ゼロ）は気候変動と戦う手段として提示されている。特にウェールズでは低炭素はしばしば「核」を示す。それは同じ文脈で再生可能エネルギーを指す。
オランダ	これまでも原子力は気候変動と戦うためには重要だという政党や人々は常に存在した。
オーストラリア・ ホーシャム	南オーストラリアのキンバという小さな町では、メディアがほとんど関心を払わないなか、使用済み核燃料の廃棄場所の建設計画を進めようという動きがあった。
インド・ チェンナイ	原子力が気候変動の解決策として積極的にプロモートされている。

コロナ禍の自国の皆さんへのメッセージ

<アンケート結果抜粋>

国や地域	コメント
日本 (福島避難者)	<ul style="list-style-type: none">・深く内省して自分の行動を決めること。・他者の選択を尊重し寛容であれ。・犠牲となっているは誰かという事を注意深く見る。
バングラデシュ	自分たちが認識し、人の助けになろうとし、共感する能力を持って臨む限り、全国民で乗り越えられないものはない。
英国、 ウェールズ、 アングルシー	<ol style="list-style-type: none">1. 正確な事実を知れ。2. 政府を信じない。3. 惨事便乗型資本主義と戦え。4. 本当の純正の緑のエネルギーを推進せよ。 人々にとって経済以外に重要な価値は沢山ある。
米国、 ニューヨーク	私達の自発的な個人の力は情報の透明性、言論の自由、信頼の人間関係に基づいた社会を作るには、私達の自発的な個人の力が必要とされている。
ポーランド、 ワルシャワ	陰謀論を簡単に信じてしまわないようメディアリテラシーと忍耐強い気持ちを持つ。
パキスタン	災害の定義は広げられるべき。お粗末な統治と強欲な企業は災害を引き起こす引き金となるかも知れない。